



2021 JUNE 6 レース鳩

Vol. 747 THE RACING PIGEON

特集 / 八郷・国際チャンピオンレース900K ルポ
伊賀・オリエンタルカップレース600K ルポ

関東三大広域長距離レース序列

東日本CH&ジャパンカップレース ベスト10入賞鳩一挙紹介



21年春東坂東連盟Rg1,716羽中総合優勝

(実距離401.338K/分速1320.772m)

よしとら
“美虎号” 20HF14718 B ♀ 荒井英夫鳩舎(東坂東・真岡連合会)作翔

* 21年真岡連合会スピード鳩賞内定、春東坂東連盟300K3,935羽中総合26位、830羽中3位
20年秋東坂東連盟Rg1,792羽中総合11位・367羽中3位、東坂東連盟300K3,248羽中総合8位・768羽中5位
全妹 / “桜雅号” (*20年真岡連合会スピード鳩賞、20年秋200K9位、300K総合9位・連合会6位、Rg総合12位・連合会4位)

表紙の鳩

系統の特性が抽出された

「ヤンセン×ドブルーイン」!

21年春東坂東連盟Rg総合ワンツー&全姉妹でスピード鳩賞受賞&内定!

荒井 英夫鳩舎(真岡連合会)

21年春東坂東連盟 Rg1,716羽中総合優勝

“美虎(よしとら)号”
20HF14718 B ♀
荒井英夫鳩舎 作翔

20年秋100K972羽中19位
200K913羽中22位
300K768羽中5位・3,248羽中総合8位
400K367羽中3位・Rg1,792羽中総合11位

21年春200K910羽中42位
300K830羽中3位・3,935羽中総合26位
400K640羽中58位
*真岡連合会スピード鳩賞内定

20年真岡連合会スピード鳩賞受賞

“桜雅(おうが)号”
20HF14792 BC ♀
荒井英夫鳩舎 作翔

20年秋100K972羽中18位
200K913羽中9位
300K768羽中6位
(3,248羽中総合9位)

400K367羽中4位
(Rg1,792羽中総合12位)

全姉妹

娘

荒井英夫鳩舎(真岡)は、00年代後半から猛禽類の出没率が大きく増加し、調整が思うようにいかなくなったことで悩まされていた。解決策の一環として、戦力のさらなる強化を選択。05年に「中田ボルドー系」を介して雑誌社主催の全国タイトル「シルバード」賞を手に入れた経験から、食指を動かしたのは「ヤンセン」であった。

同鳩舎は、08年に若林登氏の「ヤンセン」最後のCH「ジャンテリ」の近親鳩を4羽導入。これが猛禽類の襲撃をよそにおもろいように当たる。とりわけ十八番である中距離レースにおいて優勝鳩どころか、総合シングル入賞を多数生み出し、これら「ジャンテリ」の血は本筋にまで昇華。この結果に強い手応えを感じた荒井鳩舎は、その派生で再び若林氏からヤンセン最後の銘種鳩といわれている「ド・クランパー」の孫鳩を複数羽

お墨付きの異血2羽で交配

05年に雑誌社主催の「シルバード賞」を地元鳩界で初めて獲得したこと、全国の名声を手に入れた荒井英夫鳩舎(真岡)。しかしその翌年から猛禽類の被害が爆発的に増え、その対策の一環として戦力を大幅に強化。そこで目をつけたのは、「中田ボルドー系」を経由し、自鳩舎で実績をあげていた「ヤンセン系」だった!

導入した。うち同氏が特別な1羽だと言って提供してくれた「07DA00342」からは、13年の坂東三地区ナショナル総合優勝鳩が誕生。新たに加わった「最後のヤンセンの血」は、荒井鳩舎のビジョンライフをさらに充実させるツールとなった。

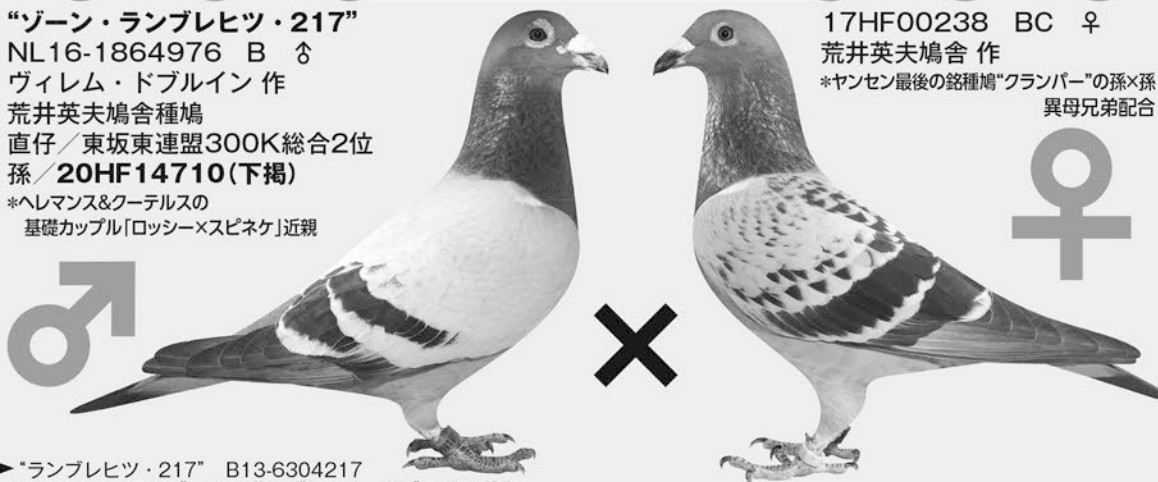
そして今春、前述の「07DA00342」を絡めた「クランパー」の孫掛の直仔が、総合優勝を果たした。しかも17年に導入したという期待のニューブリーダーとの成果である。

新戦力「ジャン・ランプレヒツ・217」は、オランダが世界に誇るAPマスター「ドブルーイン」の作出鳩だ。母方は「ドブルーイン系」の象徴ともいえるべき、ワールドクラスなAPを複数羽輩出してきた本筋中の本筋。「NL111742447」自身、オリンピックアド一歳鳩部門代表の「オリンピック・フローム」の全姉妹で、その父親はオリンピックアド若鳩代表の「オリンピック・ハリケーン」、母親がオリンピックアド一歳鳩で世界2位を勝ち取った「オ

愛孫の名を拝借したRg総合優勝鳩「美虎号」の配合式は、「近親×近親」といった印象を受けるが、「ゾイン・ランプレヒツ・217」の母方祖母「オリンピック・シャロン」のルーツは、「ヤンセン系」であるため、異種同系交配によって作られていることになる。

荒井鳩舎はこのことを察知し、「ヤンセン」は近親で飛ぶという自身の考えから生まれた配合だったようだ。異種同系交配自体、活躍率が最も高いと言われており、なおかつ超銘血の塊とあって、「美虎号」は単なる一発屋にあらず! 昨秋の300Kで総合8位

ヤンセン系「ニューゴールデンカップル」



“ゾーン・ランプレヒツ・217”
NL16-1864976 B ♂
ヴィレム・ドブルーイン 作
荒井英夫鳩舎種鳩
直仔/東坂東連盟300K総合2位
孫/20HF14710(下掲)
*ヘレマンス&クーターの
基礎カップル[ロッシェ×スピネケ]近親

17HF00238 BC ♀
荒井英夫鳩舎 作
*ヤンセン最後の銘種鳩「クランパー」の孫×孫
異母兄弟配合

“ランプレヒツ・217” B13-6304217
ステファン・ランプレヒツ 作 ヴィレム・ドブルーイン 使翔
全兄弟/キエブラン優勝2羽、デュッフェル優勝、2位、若鳩AP賞4位
B09-6252490 ステファン・ランプレヒツ 作
直仔/16年KBDBナショナルAP賞14位他 短距離優入賞多数
B10-6342498 ファンデンブルク 作翔 キエブラン若鳩AP賞1位
“ニューロッシェ”(“ロッシェ”×“オリンピック003”の娘“スピネケ”)の直系孫
“リンシア”(15年KBDB中距離若鳩ナショナルAP賞1位)
従弟/“キッテル”(13年KBDB短距離ナショナルAP賞1位)
NL11-1742447 ヴィレム・ドブルーイン 作
直仔/ヘロンヌ優勝、ブルジュNPO13,431羽中4位
全姉妹/“オリンピック・フローム”(13年オリンピックアド1歳鳩代表)
“オリンピック・ハリケーン” BC ヴィレム・ドブルーイン 作翔
11年オリンピックアド若鳩代表、TBOTB若鳩エースビジョン賞3位
上記“ニューロッシェ”全姉妹の孫
“オリンピック・シャロン” B C&M・エヴァーリンク 作翔
10年オリンピックアド1歳鳩世界2位、TBOTBオールラウンドAP賞1位他

10DA35092 BC 若林 登 作
直仔/東坂東連盟300K7,027羽中総合2位
孫/東坂東連盟300K総合優勝、2位
東坂東連盟Rg総合2位
坂東三地区ナショナル400K総合4位
東坂東連盟地区N総合4位 東日本稚内GN8位
B99-6265126 B ヤンセン 作 “ド・クランパー”直仔
B08-6336857 シャーリー ヤンセン 作
07DA00342 BC 若林 登 作
直仔/200K3位、Rg2位
孫/坂東三地区ナショナル400K総合優勝
東坂東連盟Rg総合2位、10位、12位 500K総合2位
東坂東連盟地区N総合9位
B99-6265126 B ヤンセン 作 “ド・クランパー”直仔
B99-6265106 BC ヤンセン 作

21年春東坂東連盟Rg1,716羽中総合2位(分速1320.772m)

20HF14710 BC ♀ 荒井英夫鳩舎 作翔

200K10位 400K17位

10HF31539 BC 荒井英夫 作
直仔/東坂東連盟300K6,590羽中総合2位
NL03-0374062 BC コーポマン父子 作翔
中距離CH賞1位
09HF08090 BC 荒井 作翔
300K2位 400K優勝 連合会スピード鳩賞
19HF17814 B 荒井英夫 作
全兄弟/東坂東連盟300K総合2位
“ゾーン・ランプレヒツ・217”(上掲)
17DA20050 B 若林 登 作
“カースプール”直仔×孫



とRgで総合11位、そして今春の300Kで3位に入賞し、連合会のAPタイトル「スピード鳩賞」も内定しているAPでもあった。全妹にして同じく愛孫の名前が付けられた「桜雅号」もまた昨秋に連合会ベストテンに3回入り、前述の「スピード鳩賞」を最短で受賞。「スピード」ヤンセン、「安定性」ドブルーインとそれぞれ武器が抽出されているとあって、この組み合わせは「当たり前」として過言ではない。

その一方で「ゾイン・ランプレヒツ・217」は、「ビリオネア」の「ニューキム」を生み出したガストンの「カースプールの」近親、ヤンセンを大元とするコープマン系を絡めた孫——こちらも異種同系交配で今回のRg総合2位鳩を誕生させており、カップル限定でなく、前述の「07DA00342」のように単体として銘種鳩としての才覚を見せている。

ヤンセンを生かす配合式への手応えと確信。そして新戦力の可能性まで見つけたことで、今春のRg総合ワンツー劇に荒井鳩舎の胸が躍ったのはいわずもがな。他にも外山芳和鳩舎の八郷・500K優勝の全兄弟(*ヘレマンス&クーターの全兄弟)といった素材を所有している上、本筋ともいえるフェルストラートの「切れ味」は未だ健在だ。同鳩舎はすでに強豪というステータスを手に入れてはいるが、競翔家としての円熟期は、実のところこれからなのかもしれない。

ヤンセンは近親で飛ぶ!

ヤンセンとヘレマンス&クーター